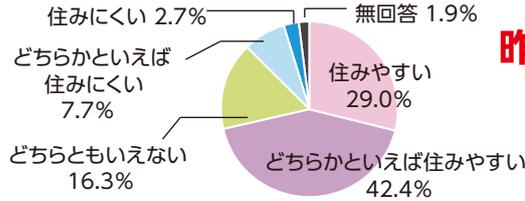


平成30年度太宰府まちづくり市民意識調査結果

問い合わせ 経営企画課(☎内線548・535)

『住みやすい』と答えた人は
※「どちらかといえば住みやすい」を含む

71.4%



昨年度から**3.4%**

↑ UP

太宰府市が行う「福祉」「防災防犯」「教育」「環境」「都市整備」「歴史文化」「協働」などの分野からなる33の施策の平均満足度も昨年度から↑上昇しました！

特に重要度の高い5つの施策については昨年度と大きな入れ替わりはありません。「安全な消費生活の推進」の満足度が昨年に比べ大きく上昇しました。

重要度が高い5つの取り組み(全体平均4.56点)

満足度が高い5つの取り組み(全体平均3.09点)

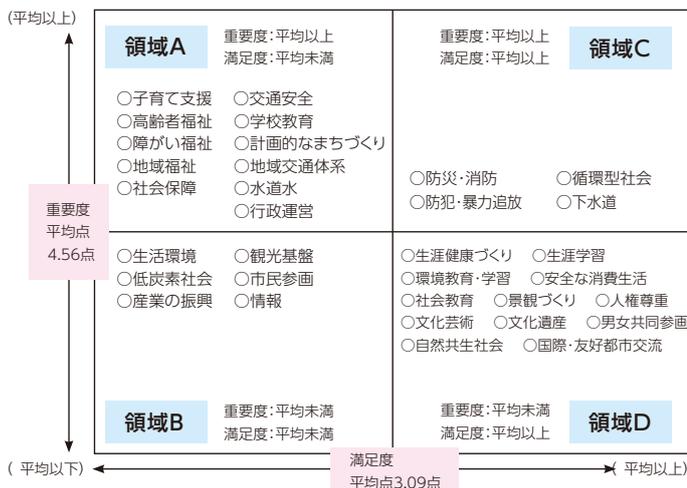
順位	項目	得点	昨年順位
1位	子育て支援の推進	5.50	1位
2位	良質な水道水の安定供給	5.35	3位
3位	社会保障の適正な運営	5.22	4位
4位	下水道の整備と普及促進	5.19	7位
4位	高齢者福祉の推進	5.19	2位

順位	施策	得点	昨年順位
1位	文化遺産の保存と活用	3.72	1位
2位	文化芸術の振興	3.65	2位
3位	人権を尊重するまちづくりの推進	3.53	3位
3位	下水道の整備と普及促進	3.42	6位
5位	安全な消費生活の推進	3.36	10位
5位	防犯・暴力追放運動の推進	3.36	5位

※重要度・満足度得点 …「重要」「満足」という評価であれば6点、「やや重要」「やや満足」4点、「あまり重要でない」「やや不満」2点、「重要でない」「不満」0点とそれぞれ得点化し、4つの評価の回答者数で割った値

重要度が高く満足度が低い領域Aは11施策となり、昨年度より1施策増加しました。

領域別に見た行政施策



各領域該当項目の特徴	領域A	今後改善の優先度が高い（行政ニーズが高い）。
	領域B	施策の重要性を理解してもらうとともに満足度を上げていく必要がある。
	領域C	重要度・満足度ともに平均以上で、引き続き取り組みの充実が求められる。
	領域D	重要度が低く、満足度が高いもので、今後、施策の重要性を理解してもらう必要がある。

重要度得点と満足度得点の平均値を境界として4つの領域に分けると、重要度が高く満足度が低い、行政ニーズの高い領域Aの項目には「子育て支援の推進」「高齢者福祉の推進」「学校教育の充実」「市民のための行政運営」など11項目があがっています。

また、全体的な値の上昇に伴い領域の変化があり、「計画的なまちづくり」が重要度の上昇により領域Bから領域Aへ移動し、「生活環境の向上」が満足度の平均点が上昇したことにより領域Dから領域Bへ移動しています。皆様から頂いた結果をもとに、今後さらに事業の充実を図り、重要度理解、満足度向上を目指します。

調査概要

- ◇調査対象：市内に居住する18歳以上の市民
- ◇抽出方法：住民基本台帳による無作為抽出法
- ◇調査期間：平成31年2月8日～22日
- ◇調査対象者数：1,000人(郵送)
- ◇回答数(率)：521件(52.1%)
- 調査結果は市ホームページに公開しています。